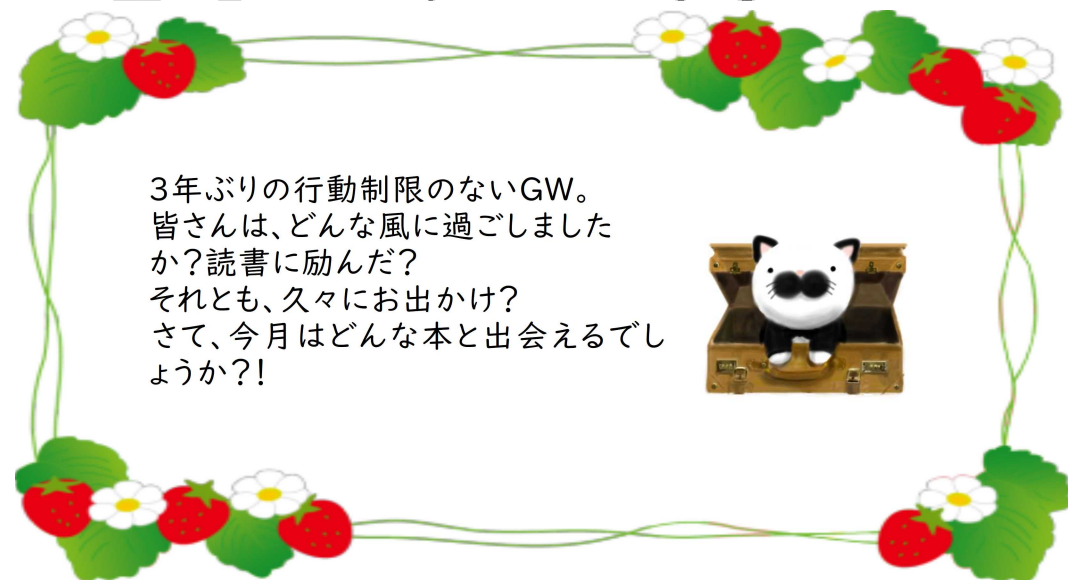


図書館だより 5月号

2022年5月15日発行
阿波高校図書委員会



3年ぶりの行動制限のないGW。
皆さんは、どんな風に過ごしましたか？読書に励んだ？
それとも、久々にお出かけ？
さて、今月はどんな本と出会えるでしょうか？！

○35HR 図書委員河野のオススメ！

『 <いい子>じゃなきゃいけないの? 』

香山 リカ 著

皆さんは「いい子でいなさい」と言われたことはありますか？

この本の作者は、いい子であろうとして疲れてしまった子供たちや青年たちのカウンセリングをしています。患者の症状はさまざまですが、原因はほとんどが度を過ぎた我慢。そして、皆が口をそろえて言うのです。「いい子じゃないと、嫌われるかもしれないと怖かった・・・。」

自分の感情に蓋をすることは、想像以上に自分自身にストレスを与えています。忙しい高校生活で勉強や部活動、そして人間関係に悩む方は少なくないでしょう。改めて自分を見つめ直すことの大切さを教えてくれるこの1冊。ぜひ一度手に取ってみてはどうでしょうか。



○34HR 図書委員大山のオススメ！

『 チルドレン 』

伊坂 幸太郎 著

この本を読むと、誰に対しても対等に接することの難しさを毎回思い知らされます。障害者やお年寄りに配慮するのではなく、区別せずに接する。一見考えなしのようにも思えますが、実際に自分が障害を持ったり老いたりしたときに、一番気が楽なのはそういった反応なのかもしれません。

このようにぱっと見ではおかしい行動なのに、気づいたら場を和ませている友人、陣内が登場する短編集『チルドレン』ではたくさんのことを考えさせられます。「子供のことを英語でチャイルドと言うけれど、複数になるとチャイルズじゃなくてチルドレンだろ。別物になるんだよ。」といった言葉のように、読む前は訳が分からないことでも、読み返すたびに違った感想が出てくる不思議な本でした。ぜひこの本を読んで、これまでにない不思議を味わってみてください。



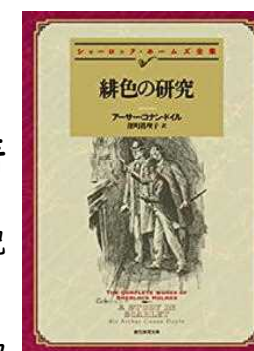
○34HR 図書委員櫻井のオススメ！

『 シャーロックホームズの冒険 緋色の研究 』
アーサー・コナン・ドイル 著

この作品はあの超大作「シャーロック・ホームズ」シリーズの記念すべき第一作目です。

戦地でケガと腸チフスにかか^{かか}に罹ったワトソンは、医局の命令でアフガニスタンからロンドンに帰還し、怠惰な暮らしを送っていた。そんな生活から脱却するために生活改善を始める。下宿先探しの途中でかつての助手スタンフォードに部屋を貸してもらうのだが、そこで待ち受けていたのはシャーロックだった・・・。

ホームズの鋭い洞察力と真実にたどり着く思考力はまさに圧巻です。どんな学年のどんな人にも刺激とワクワクを与えてくれます。刺激を求めて読んでほしい、そんな1冊です！



6月号は31HR & 33HRの図書委員さんが担当します。

